

1 災害時医療救護体制整備事業

災害時における医療救護活動を円滑に行うため、市災害時医療救護検討会を開催するほか、救護所における医薬品の備蓄や訓練を実施しました。

【訓練】

訓練名	参加者数(人)
相模原市総合防災訓練(相模原総合補給廠一部返還地及び相模原スポーツ・レクリエーションパーク)	23
災害時医療救護訓練(旭小)	74
市災害時保健医療調整本部運営訓練(ウェルネスさがみはら)	48

その他、救護所開設手順確認及び通信訓練を実施しました。

【医薬品及び資機材等の整備】

区分	内容
拠点救護所	北 MC 及び南 MC の医薬品更新及び医療資機材滅菌
救護所	13 救護所の医薬品更新及び医療資機材滅菌

2 急病診療事業

(1) 医療機関案内(相模原救急医療情報センター)

相模原救急医療情報センター(電話 042-756-9000、昭和 51 年から相模原市医師会が受託運営)では、急病患者に対して診療可能な医療機関を案内するとともに、消防局との連絡調整を行いました。

区分	実施日数 (日)	受付件数(件)		
		総数	1日平均	
土曜日	午後 1 時 ~ 午後 5 時	50	2,546	51
休日	午前 9 時 ~ 午後 5 時	72	14,748	205
お盆	午前 9 時 ~ 午後 5 時	5	447	-
毎夜間	午後 5 時 ~ 翌朝 9 時	365	37,385	102
合計	-	-	55,126	-

お盆のうち、土曜日は午後 1 時まで実施

(2) 初期救急医療体制確保事業

ア 休日夜間急病診療事業(初期救急)

休日及び夜間における急病患者に対する医療を提供するための初期救急医療機関を確保するものです。

相模原市医師会に委託し、相模原中央メディカルセンター急病診療所(中央 MC)、相模原南メディカルセンター急病診療所(南 MC)、相模原北メディカルセンター急病診療所(北 MC)、相模原西メディカルセンター急病診療所(西 MC)及び津久井地域在宅当番制初期医療機関(津久井在宅)において、急病診療事業を実施しました。

【経過】

- 昭和 48 年 7 月 休日昼間における内科・外科開始(補助事業)
- 昭和 51 年 9 月 毎夜間における内科・外科開始(委託事業)
- 昭和 59 年 4 月 休日昼間における眼科開始(補助事業)
- 平成 2 年 4 月 休日昼間における耳鼻咽喉科開始(補助事業)
- 平成 13 年 6 月 休日・毎夜間における小児科開始(委託事業)

- 平成 18 年 3 月 合併により、津久井郡広域行政組合から、相模原西メディカルセンター急病診療所(旧津久井郡急病診療所)及び津久井地域夜間急病診療所運営事業(夜間在宅当番)引継
- 平成 21 年 4 月 休日昼間における産婦人科開始(委託事業)
- 平成 25 年 4 月 相模原北メディカルセンター急病診療所開設
- 令和 2 年 4 月 事業見直しにより委託事業に集約
- 令和 3 年 4 月 新型コロナウイルスワクチン接種会場・配送拠点として使用するため相模原北メディカルセンター急病診療所を休止
- 令和 4 年 4 月 相模原南メディカルセンター急病診療所における感染症対策エリアの供用開始

【総括】

(単位：人)

区分	受診者数			合計
	休日昼間	夜間		
		準夜	終夜	
中央 MC	6,752	11,603	2,732	21,087
南 MC	6,444	3,726	-	10,170
北 MC	-	-	-	-
西 MC	617	157	-	774
津久井在宅	-	333	-	333
合計	13,813	15,819	2,732	32,364

休日昼間は、午前 9 時から午後 5 時まで実施

ただし、西 MC は午前 8 時 45 分から正午及び午後 1 時 45 分から午後 4 時まで実施

準夜は、休日及び中央 MC の小児科の土曜日は午後 5 時から、その他は午後 8 時から午後 11 時まで実施

終夜は、中央 MC の小児科のみで、午後 11 時から翌午前 6 時まで実施

西 MC 及び津久井在宅の夜間は、午後 7 時から午後 10 時まで実施

【休日昼間】

区分	中央 MC	南 MC	北 MC	合計
	休日昼間			
診療日数(日)	72	72	-	-
受診者数(人)	4,247	4,706	-	8,953
1 日平均(人)	59	65	-	-

午前 9 時から午後 5 時まで実施

小児科及び産婦人科の受診者数は、含まない。

【夜間】

区分	中央 MC	南 MC	北 MC	合計
	毎夜間		土曜日・休日	
診療日数(日)	365	364	-	-
受診者数(人)	5,758	3,726	-	9,484
1 日平均(人)	16	10	-	-

休日は午後 5 時から、平日及び土曜日は午後 8 時から午後 11 時まで実施

小児科の受診者数は含まない。

【小児科】

区分	中央 MC			南 MC	合計
	休日昼間	夜間		休日昼間	
		準夜	終夜		
診療日数(日)	72	365	365	72	-
受診者数(人)	2,505	5,845	2,732	1,650	12,732
1日平均(人)	35	16	7	23	-

休日昼間は、午前9時から午後5時まで実施

準夜は、休日及び土曜日は午後5時から、平日は午後8時から午後11時まで実施

終夜は、午後11時から翌午前6時まで実施

【産婦人科】

区分	南 MC	合計
	休日昼間	
診療日数(日)	72	-
受診者数(人)	88	88
1日平均(人)	1	1

午前9時から午後5時まで実施

【西 MC】

区分	西 MC		合計
	休日		
	昼間	夜間	
診療日数(日)	72		-
受診者数(人)	617	157	774
1日平均(人)	9	2	11

昼間は、午前8時45分から正午まで、及び午後1時45分から午後4時まで実施

夜間は、午後7時から午後10時まで実施

【津久井在宅】

区分	津久井在宅	合計
	平日・土曜日夜間	
診療日数(日)	293	-
受診者数(人)	333	333
1日平均(人)	1	1

午後7時から午後10時まで実施

イ 休日夜間急患調剤薬局事業

休日夜間急病診療事業(初期救急)における休日及び夜間の調剤業務を相模原中央メディカル調剤薬局、相模原南メディカル調剤薬局で実施しました。なお、相模原北メディカル調剤薬局は、相模原北メディカルセンター急病診療所休止に伴い、令和3年4月から休止しています。また、令和4年度より、補助事業から委託事業となりました。

	休日			夜間		
	診療日数	処方箋枚数	調剤件数	診療日数	処方箋枚数	調剤件数
相模原中央メディカル調剤薬局	72	5,656	9,626	365	11,575	17,513
相模原南メディカル調剤薬局	72	5,022	8,428	364	3,288	5,258
相模原北メディカル調剤薬局	-	-	-	-	-	-
合計		10,678	18,054		14,863	22,771

休日は、午前9時から午後5時まで

夜間は、午後8時から午後11時まで(休日夜間は午後5時から)

小児夜間は午後11時から翌午前6時まで(相模原中央メディカル調剤薬局)

1月4日歯科診療 処方箋枚数4枚 調剤数6件(相模原中央メディカル調剤薬局)

ウ 休日柔道整復施療所運営事業

休日に捻挫、打撲、脱臼の応急施療を市内1~3か所の当番施療所において実施する事業に対し助成しました。

【経過】

平成4年度 (公社)神奈川県柔道整復師会相模支部の事業として、市内南北2か所で実施

平成22年度~平成28年度 各区1か所計3か所で実施

平成29年度 (一社)相模接骨師会の事業として、市内南北2か所で実施

令和元年度 1~3か所にて実施。当番はフリーダイヤル(TEL0120-19-4199)にて電話案内

令和4年度実績：実施日数 72日、受診者数 94人

(3) 二次救急医療体制確保事業

土曜日・休日及び夜間における急病患者に対する医療を提供するための二次救急医療機関を確保するもの。相模原市病院協会に委託し、市内12病院の輪番制により、急病診療事業を実施しました。

ア 休日夜間急病診療事業(二次救急)

【経過】

昭和53年5月 毎夜間における内科開始

昭和54年12月 休日昼間における内科開始(津久井4町を含めた広域医療圏で実施)

平成13年6月 休日・毎夜間における小児科開始

平成20年4月 休日・毎夜間における循環器科及び消化器科開始

平成21年4月 委託先が相模原市医師会から相模原市病院協会に変更

休日昼間における産婦人科開始

令和2年4月 事業見直しにより名称を変更

【総括】

(単位：人)

区分	昼間				夜間		合計	
	土曜日		休日		受診者数	入院者数	受診者数	入院者数
	受診者数	入院者数	受診者数	入院者数				
内科系	583	209	1,393	460	10,266	2,385	12,242	3,054
小児科	96	15	165	40	1,415	365	1,676	420
産婦人科	-	-	31	6	-	-	31	6
合計	679	224	1,589	506	11,681	2,750	13,949	3,480

昼間は、午前9時から午後5時まで(土曜日は午後1時から)

夜間は、午後7時から翌午前9時まで(土曜日・休日は午後5時から)

「内科系」は、「内科」「循環器科」「消化器科」の体制を確保

「入院者数」は、「受診者数」の内数

入院施設のある医療機関を、輪番制で1日1か所確保

【昼間】

	内科系		小児科		産婦人科	合計	
	土曜日	休日	土曜日	休日	休日	土曜日	休日
診療日数(日)	50	72	50	72	72	-	-
受診者数(人)	583	1,393	96	165	31	679	1,589
うち入院者数(人)	209	460	15	40	6	224	506
1日平均(人)	12	19	2	2	0.4	-	-
うち入院者数(人)	4	6	0.3	0.6	0.1	-	-

昼間は、午前9時から午後5時まで(土曜日は午後1時から)

【夜間】

	内科系	小児科	合計
診療日数(日)	365	365	-
受診者数(人)	10,266	1,415	11,681
うち入院者数(人)	2,385	365	2,750
1日平均(人)	28	4	32
うち入院者数(人)	7	1	8

夜間は、午後7時から翌午前9時まで(土曜日・休日は午後5時から)

イ 外科系救急医療体制支援事業

【経過】

平成11年4月 土曜日・休日及び毎夜間における外科開始

平成21年4月 実施主体が相模原市医師会から相模原市病院協会に変更

【総括】

(単位：人)

区分	昼間				夜間		合計	
	土曜日		休日		受診者数	入院者数	受診者数	入院者数
	受診者数	入院者数	受診者数	入院者数				
外科系	299	76	850	191	4,592	717	5,741	984

昼間は、午前9時から午後5時まで(土曜日は午後1時から)

夜間は、午後5時から翌午前9時まで

「入院者数」は「受診者数」の内数

入院施設のある医療機関を、輪番制で1日1か所確保

【昼間・夜間】

	昼間		夜間
	土曜日	休日	
診療日数(日)	50	72	365
受診者数(人)	299	850	4,592
うち入院者数(人)	76	191	717
1日平均(人)	6	12	13
うち入院者数(人)	2	3	2

昼間は、午前9時から午後5時まで(土曜日は午後1時から)

夜間は、午後5時から翌午前9時まで

3 地域医療事業

(1) 相模原口腔保健センター歯科診療事業

相模原市総合保健医療センター内の相模原口腔保健センターにおいて、相模原市歯科医師会が実施する一般の歯科診療所では実施困難な次の事業に対し助成しました。

【経過】

昭和48年7月 休日急患歯科診療事業開始(旧メディカルセンター内)

昭和60年10月 障害児者の歯科診療開始(けやき会館内)

平成12年4月 相模原市総合保健医療センター開設

平成18年4月 HIV 歯科診療を開始

平成26年4月 障害者歯科診療事業において全身麻酔下歯科診療開始

平成30年4月 要介護高齢者等歯科診療事業開始

休日急患歯科診療事業実施日をGW・年末年始へ変更

区分	診療日数(日)	受診患者数(人)	1日平均(人)
年末年始等急患歯科診療	10	217	22
障害者歯科診療	94	2,037	22
HIV 患者歯科診療	24	48	2
要介護高齢者等歯科診療	50	169	3

「年末年始等急患歯科診療」は、GW・年末年始の午前9時から午後5時まで実施

「障害者歯科診療」は、原則として週2回(火・木曜日)午後1時から午後5時まで実施

「HIV 歯科診療事業」は、エイズ拠点病院などと連携し実施

「要介護高齢者等歯科診療」は、毎週日曜日(GW・年末年始・祝日を除く)午前9時から正午まで実施

令和4年4~5月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全身麻酔下歯科診療は中止

(2) 保健衛生思想啓発普及事業

ア 「健康さがみはら」発行事業

市民の健康・医療に関する知識を深め、救急時の応急手当や自らの健康づくりに資するため、「健康さがみはら」を発行する事業に対し助成し、年6回、新聞折り込みや、公共施設等に配架しました。

令和4年度実績：発行部数 1,161,300部

イ かかりつけ医普及啓発事業

市民が身近な地域で気軽に健康状態の相談や治療を受けることができるとともに、必要に応じて高度な医療機関を紹介することができる、かかりつけ医、かかりつけ歯科医及びかかりつけ薬局の定着を図るため、普及啓発を行いました。

令和4年実績：スマホスタンド(ふせんメモ付き) 作成部数 260個

普及啓発エコバッグ(不織布BENTOバッグ)作成部数 250個

(3) 地域医療協力事業補助金

ア 地域医療協力事業補助金

救命救急患者に対する医療及び搬送業務の円滑化を推進するため、北里大学病院が運営する救命救急センター事業に対し助成しました。

(単位：人)

	救命救急	熱傷	三次救急	一・二次救急	合計
受診者数	1,883	0	592	6,514	8,989

「救命救急」は、救急車で運ばれた患者の中で、症状が重篤な患者

「熱傷」は、救急車で運ばれた患者の中で、熱傷の患者

「三次救急」は、救急車で運ばれた患者の中で、症状が中～軽程度の患者

「一・二次救急」は、一般の時間外の患者

イ 産科医師等分娩手当補助金

分娩を行う産科医師及び助産師の処遇改善を通じて医師確保を図るため、医師及び助産師に分娩手当を支給する医療機関に対し助成しました。

対象施設数	分娩取扱件数
6	延べ1,443

ウ 脳神経系地域医療協力事業補助金

平成23年4月から脳神経系救急患者のうち、t-PA療法を必要とする救急患者に対する医療及び搬送業務の円滑化を推進するため、患者受け入れ日時や搬送基準等診療に関する情報をあらかじめ医療機関と救急隊が共有する事業に対し助成しました。

休日(日)	夜間(日)	t-PA治療(件)
延べ222	延べ1,160	27

診療情報は24時間365日共有するが、補助金対象は休日・夜間実施分に限る。

(4) 中山間地域の医療の在り方検討事業

中山間地域(津久井、相模湖及び藤野地区)における医療提供体制の確保を図るため、持続可能な医療の在り方について検討しています。

- 令和4年度実績 ・中山間地域の医療のあり方に関する懇話会の開催
- ・中山間地域の持続可能な医療の在り方に係る基本方針（案）に関する説明会の開催

4 相模原赤十字病院建設費借入償還金補助金

津久井地域における救急医療など地域医療の確保を図るため、当該地域唯一の公的病院である相模原赤十字病院の建設時借入金の償還に要する経費を助成しています。

債務負担行為期間：平成22年4月1日から令和9年3月31日まで(17年間、借入金 3,655,742千円及びこの利子)

5 看護職員確保対策事業

(1) 「看護の心」啓発普及事業

看護する心の重要性の認識及び看護についての市民理解の促進を図るため、さがみはら看護フェスティバル実行委員会が「看護の日」及び「看護週間」に実施する事業に対し助成しました。

【さがみはら看護フェスティバル2022】

区分	内容
一日看護体験	市内協力施設 5施設(2022年6月5日～8月21日 計9日間) 参加者 149人(中学生3名 高校生118人、一般28人)
広報・宣伝活動	「看護の魅力」を発信する「看護の心」啓発普及CMを2021年に作成し・2022年度も引き続き放映した 【放映場所】 神奈川中央交通 相模原営業所「かなチャンネル」搭載バス(50台)
その他	相模原市青少年学習センター事業「ミライミツケルプロジェクト」への講師派遣を行い看護師の仕事について講話を実施

(2) 院内保育施設運営費補助金

医師、看護師等の定着・確保を図るため、病院に勤務する医師、看護師等の乳幼児を保育する院内保育施設設置者に対し、運営費を助成しました。

対象施設	
9施設	北里大学病院、相原病院、相模大野病院、相模原南病院、相模原病院、相模原協同病院、森下記念病院、淵野辺総合病院、さがみリハビリテーション病院

(3) ナースセンター運営費補助金

看護師等の確保・定着及び看護業務に関する市民の理解促進を図るための地域拠点である神奈川県ナースセンター相模原支所の運営に対し助成しました。

(単位：人)

求人数	求職者数	就職者数	紹介者数
434	113	55	30

(4) 看護師等修学資金貸付事業

将来市内において看護師等の業務に従事する人材を、的確に育成・確保するため、平成5年度から看護師

等養成施設に在学する者に修学資金を貸し付けています。

(単位：人)

新規貸付者数	継続貸付者数	卒業者数		
		市内就職者数	市外就職者数	その他
35	73	26	2	3

(5) 相模原看護専門学校運営費補助金

看護師等の養成・確保を図るため、相模原看護専門学校の運営に対し助成しました。

【経過】

平成 15 年 4 月 相模原衛生学院は、旧市立磯野台小学校跡地(相模原市南区新磯野 4-1-1)へ移転

平成 17 年 4 月 定時制課程から全日制課程へ移行

相模原衛生学院看護専門学校から相模原看護専門学校に変更

平成 22 年 4 月 一般財団法人相模原市健康福祉財団が設立

相模原市及び地域の医療関係団体による学校運営に変更

平成 23 年 2 月 公益財団法人相模原市健康福祉財団へ移行

(単位：人)

卒業者数	国家試験合格者数	市内就職者数
74	71	65

(6) 潜在看護師確保事業

看護師等の有資格者でありながら看護職に従事していない者(潜在看護師)を対象とした就職相談会や技術研修会の開催等に対し助成しました。

(単位：回)

就職相談会	技術研修会
2	1

技術研修会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

6 総合診療医確保対策事業

(1) 地域医療医師修学資金の貸付事業

総合的な診療能力を有する医師の育成・確保を図り、医師不足や超高齢社会等に適した地域医療体制の基盤づくりを進めるため、市内唯一の医師育成機関である北里大学の医学部生に対し、修学資金を貸し付けました。

令和4年度の貸付人数：1年生2名、2年生2名、3年生2名、4年生2名、5年生2名、6年生2名

(2) 地域医療寄附講座開設事業

地域医療の向上を図るため、寄附講座「地域総合医療学」を北里大学医学部に開設し、総合的な診療能力を有する医師の育成及び地域医療に関する研究等に対し、支援しています。

設置期間：平成26年2月1日から令和7年3月31日まで

7 診療所の運営

(1) 市立診療所

政令指定都市移行に伴い、平成 22 年 4 月に神奈川県から事務移譲し、相模原市立診療所として開設しています。

指定管理者：日本赤十字社

名称	青野原診療所	千木良診療所	藤野診療所
所在地	緑区青野原 2015-2	緑区千木良 852-8	緑区小淵 1656-1
開設年月	昭和 14 年 12 月	昭和 21 年 12 月	昭和 12 年 11 月
診療科目	内科、外科、小児科		
診療時間	火～土曜日：午前 9 時～正午、午後 3 時 30 分～午後 5 時		
休診日	日曜日、月曜日、祝日、年末年始		

【令和 4 年度実績】

名称	青野原診療所	千木良診療所	藤野診療所	合計
診療日数(日)	242	239	242	-
受診患者数(人)	4,552	3,123	5,849	13,524
1 日平均(人)	19	13	24	56

(2) 国民健康保険診療所

平成 18 年 3 月及び 19 年 3 月の合併により、各町から国民健康保険直営診療施設として引き継ぎ運営しています。

名称	青根診療所	内郷診療所	日連診療所
所在地	緑区青根 1837-1	緑区若柳 1207	緑区日連 1037-1
開設年月	昭和 24 年 4 月	昭和 27 年 6 月	昭和 26 年 6 月
診療科目	内科、小児科、外科	内科、小児科、外科、 整形外科、胃腸科	内科、小児科
診療時間	午前 8 時 30 分～正午 午後 1 時～午後 5 時	午前 9 時～正午 午後 3 時～午後 6 時	午前 9 時～正午 午後 1 時～午後 5 時
休診日	土曜日、日曜日、祝日、 年末年始	水曜日、土曜日、日曜日、 祝日、年末年始	土曜日、日曜日、祝日、 年末年始

【令和 4 年度実績】

名称	青根診療所	内郷診療所	日連診療所	合計
診療日数(日)	198	186	230	-
受診患者数(人)	2,244	6,168	4,935	13,347
1 日平均(人)	11	33	21	65